鳥羽		専門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授	業科目 🕏	生体工学(H31開講無し)	
科目基礎			<u>-</u>							
科目番号 0099			科目区分 専門 / 選択		ξ					
受業形態 講義				単位の種別と単						
		テム学専攻		対象学年		専1				
開設期前期					週時間数	2				
						ļ				
33 33 33 33 34 34 34 34 34 34 34 34 34 3	(1)	坂牧 孝規		17573107 = 713 = 3	2001111 / 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1					
	<u> </u>	1212 3776	<u>'</u>							
1. 牛体 ⁻	システムの槍	造および機i 学技術の関 [∞] 辞世について	能を説明できる. 係について説明で 説明できる.	きる.						
レーブリ										
<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>			理想的な到達し	煙進的な到達し	標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安		
到達目標1			ホメオステーシ クスについて訪	生体の構造・機能を説明できる.				機能を説明できない		
到達目標2						ヒ工学技術の関係を 生体システムと工学技術の関係を 説明できない.				
到達目標3			生命倫理・工学倫理に基づいた事 生命倫理・工学倫理につ 例研究ができる. 生命倫理・工学倫理につ できる.			いて説明	生命倫理・ごできない.	工学倫理について説明		
学科の至	到達目標項	目との関	係							
数育方法 数育方法	<u></u>									
・生体物性 ・エンジュ ※実務とのこの科目 装置開発の			ム工学および制御工学の視点で,生体システムの構造および機能を理解する. 性に基づいた医療機器の動作原理を理解し,生体を対象とした情報処理の方法について理解する. ニアとして生命倫理・工学倫理について理解する. の関係 目は企業で医療機器の設計開発を担当していた教員が,その経験を活かし,生体工学に関わる基礎的事項からの実務に至る事項について講義形式で授業を行うものである.							
受業の進む	め方・方法	・授業の ¹ ・この科	目は学修単位科目の	用いた実習を行う. のため, 事前・事後	の学習として課題	やレポー	- トを実施す	する.		
注意点		・受講前(・医療機器 ・実習に	こ生物, 電気回路, 器を操作する際は, 関するレポートの	, 電子回路の復習を , 担当教員の指導の 提出は必須である.	行うこと. もと,安全第一で	おこなう	うこと.			
授業計画	 fi	7(0,0)	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	жения созы.						
<u> </u>	1	週				调ブン	の到達目標			
前期	1stQ		ガイダンス, サイバネティクスと工学			生体工学が取り扱う問題を説明できる				
			生体物性・生体材料			生体物性・生体材料の基礎的な事項を説明できる				
						循環系の基礎的な事項と関係する医用工学技術につい				
		3週	循環系と工学技術		「信贷金融」の企業では、一個では、一個では、一個である。					
		4週	神経系と工学技術		神経系の基礎的な事項と関係する医用工学技術につい て説明できる					
		5週	免疫系と工学技術		免疫系の基礎的な事項と関係する医用工学技術について説明できる					
		6週	代謝と工学技術			代謝に関する基礎的な事項と関係する医用工学技術に ついて説明できる				
			バイオメカニクス			バイオメカニクスに関する基礎的な事項と関係する医用工学技術について説明できる 生体計測に関する基礎的な事項と関係する医用工学技				
			生体情報処理			術について説明できる 生体情報処理に関する基礎的な事項と関係する医用]				
	Í		生体記証			学技術について説明できる 生体認証に関する基礎的な事項と関係する医用工学技				
						生体認識	正に関する		と関係する医用工字技	
		10週	生体制御			生体認 術につい 生体制	正に関する。 ハて説明で 卸に関する。	きる 基礎的な事項		
	2ndQ	10週	生体制御			生体認識術につい 生体制統につい	正に関する。 ハて説明で: 卸に関する。 ハて説明で:	きる 基礎的な事項 きる	と関係する医用工学技	
	2ndQ	10週 11週 12週	生体制御医用工学			生体認識 術につい 生体制 術につい 最新のい	正に関する。 ハて説明で 卸に関する。 ハて説明で 医用工学の	きる 基礎的な事項 きる 動向について	と関係する医用工学技	
	2ndQ	10週 11週 12週 13週	生体制御 医用工学 生命倫理			生体認 術につい 生体制 術につい 最新の 生命倫	正に関する。 いて説明で。 卸に関する。 いて説明で。 医用工学の 里について	きる 基礎的な事項 きる 動向について 説明できる	と関係する医用工学技	
	2ndQ	10週 11週 12週 13週 14週	生体制御 医用工学 生命倫理 工学倫理			生体認 術につい 生体制 術につい 最新の日 生命倫 エ学倫	正に関する。 いて説明でき かて説明でき いて説明で 医用工学の 里について 里について	きる 基礎的な事項 きる 動向について	と関係する医用工学技	
	2ndQ	10週 11週 12週 13週 14週 15週	生体制御 医用工学 生命倫理 工学倫理 試験	1		生体認 術につの 生体制 術につい 最新の 生命倫 工学倫 定期試	正に関する。 いて説明で 即に関する。 いて説明で 医用工学の 里について 里について 検	きる 基礎的な事項 きる 動向について 説明できる 説明できる	と関係する医用工学技 説明できる	
		10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	生体制御 医用工学 生命倫理 工学倫理 試験 試験解説,授業総			生体認 術につの 生体制 術につい 最新の 生命倫 工学倫 定期試	正に関する。 いて説明で 即に関する。 いて説明で 医用工学の 里について 里について 検	きる 基礎的な事項 きる 動向について 説明できる	と関係する医用工学技 説明できる	
		10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	生体制御 医用工学 生命倫理 工学倫理 試験 試験解説,授業総 学習内容と到道	達目標		生体認 術につの 生体制 術につい 最新の 生命倫 工学倫 定期試	正に関する。 いて説明で 即に関する。 いて説明で 医用工学の 里について 里について 検	きる 基礎的な事項 きる 動向について 説明できる 説明できる	と関係する医用工学技説明できる	
分類	コアカリキ	10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	生体制御 医用工学 生命倫理 工学倫理 試験 試験解説,授業総		蓝示	生体認 術につの 生体制 術につい 最新の 生命倫 工学倫 定期試	正に関する。 いて説明で 即に関する。 いて説明で 医用工学の 里について 里について 検	きる 基礎的な事項 きる 動向について 説明できる 説明できる	と関係する医用工学技 説明できる	
分類	コアカリキ	10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	生体制御 医用工学 生命倫理 工学倫理 試験 試験解説,授業総 学習内容と到道	達目標	西示	生体認 術につの 生体制 術につい 最新の 生命倫 工学倫 定期試	正に関する。 いて説明で 即に関する。 いて説明で 医用工学の 里について 里について 検	きる 基礎的な事項 きる 動向について 説明できる 説明できる	と関係する医用工学技説明できる	
分類	コアカリキ	10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 -ユラムの	生体制御 医用工学 生命倫理 工学倫理 試験 試験解説,授業総 学習内容と到道	達目標	票	生体認つ (生体制の 最新の) 生命倫 工学期試 間違っご	正に関する。 いて説明で 即に関する。 いて説明で 医用工学の 里について 里について 検	きる 基礎的な事項 きる 動向について 説明できる 説明できる	と関係する医用工学技説明できる	
分類 評価割合	コアカリキ	10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 -ユラムの	生体制御 医用工学 生命倫理 工学倫理 試験 試験解説,授業総 学習内容と到達 学習内容	達目標 学習内容の到達目相 	-	生体認つ (生体制の 最新の) 生命倫 工学期試 間違っご	正に関する。 いて説明で いて説明で いて説明で 医用工学の 里について 強 こ問題を解	きる 基礎的な事項 きる 動向について 説明できる 説明できる くことができ	と関係する医用工学技 説明できる る 達レベル 授業週	
分類 評 価割 合 総合評価額	コアカリキ 合 試験 割合 60	10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 -ユラムの	生体制御 医用工学 生命倫理 工学倫理 試験 試験解説,授業総 学習内容と到達 学習内容	全目標 学習内容の到達目相 相互評価	態度	生体認の 生体制 (正に関する。 いて説明で いて説明で いて説明で 医用工学の 里について 強 こ問題を解	きる 基礎的な事項 きる 動向について 説明できる 説明できる くことができ	と関係する医用工学技 説明できる る 達レベル 授業週	
モデルニ 分類 評価割る 総合評価調 基礎的能 専門的能	コアカリキ 会 割合 60 カ 20	10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 -ユラムの	生体制御 医用工学 生命倫理 工学倫理 試験 試験解説,授業総 学習内容と到選 学習内容	全目標 学習内容の到達目標 相互評価 0	態度 0	生体認の 生術にの 最新の 生命倫 工学期試 間違った ポート 40	正に関する。 いて説明で いて説明で いて説明で 医用工学の 里について 強 こ問題を解	きる 基礎的な事項 きる 動向について 説明できる 説明できる くことができ 4 その他 0	と関係する医用工学技 説明できる る 達レベル 授業週 合計 100	